

2020年も残り僅かとなりました。コロナウイルスに振り回された一年でしたが、この所の感染者数の増加に恐るしは更に募ります。来年はもう少し穏やかな日々であることを願うばかりです。年末年始も例年通りとは参りませんが、元気に年を越せますよう祈っております。

環境適応より環境活用

地球規模のコロナ渦中において「環境適応」という言葉をよく耳にするようになりました。従来より、企業とは環境適応業であり環境適応こそが経営の原点である、とよく言われています。そのとおりだと以前なら思っておりましたが、この所この言葉に違和感を感じるようになりました。時代がこう変化したから我々もこうする、というのでは時すでに遅し、後手です。そうではなく、時代がこ

う変化するだろうから、我々はこうしておく、という先手の対応をすることで時代変化を「活用」することができます。大切なのは環境「適応」ではなく環境「活用」ではないかと。クレドで有名なリッツカールトンのサービスの3ステップをご存知でしょうか。その2番に「お客様をお名前でお呼びします。一人一人のお客様のニーズを先読みし、お応えします。」というのがあります。ニーズというの

は、先読みして応えるものです。お客様に何をしたいか尋ねてから対応するのではないのと同様に、環境変化も起こってから対応するのではなく先読みして活用するもの。コロナ禍でも業績を伸ばす会社とそうでない会社の違いは、環境を活用しているか環境に適応しているかの違いと言えるのではないのでしょうか。違和感の原因に気づき視野の広がりを感じました。（太）

3つの経営ツールをプレゼント

お年玉…ではありませんが、普段当社が使っているコンサルティングツールのうち、①「コンセプトシート」（どんな会社[事業、商品、サービス]でありたいのか認識できて経営判断の基軸になる）、②「戦略策定シート」（自社のタイプにあった戦略を知ることができる）、③「問題解決ワークシート」（現状の問題を見える化して今すぐ取り組める個別課題に分解する）の3ツールをプレゼントします。御希望の方は当社代表後藤健太のLINE公式アカウントをお友達追加して頂き、受け取りたいツール名（3つ全部の場合は「3ツール全て」）を送信してください。ツールダウンロードURLをお知らせします。やり方がわからない場合やご質問など随時LINEで承ります。新年を迎えるにあたり、経営者として改めて自社の経営を見つめ直す際のツールとしてご活用頂き、皆様の会社を「再起動」するパートナーとして当社をご用命頂けましたら幸いです。後藤のLINE公式アカウントは別紙案内のQRコードを読み取ってください。（太）

ようこそ太仁亭へ！

2号畑では里芋の他にサツマイモも育てました。耕作が不十分だったせいでやけに丸っこい形になりましたが、甘みたっぷりでお味は抜群でした。お裾分けした方が、（太仁亭のサツマイモがとても美味しくて）焼き芋

屋さんのお芋って味が薄いんだと分かりました、と仰っていて、素人ながらに一生懸命育てた作物がこのように評価されたことは本当に嬉しいことでした。来年も美味しいお芋を食べる為に、耕作に励みます。（仁）

武士道を仕事に活かす-9「武士の本分」

これまで義・勇・仁・礼・誠・名誉・忠義という武士道の7つの徳目について紹介して参りました。2020年の締め括りに際し、今回は武士の本分についてお話ししたいと思います。「花は桜木、人は武士」という言葉があります。花は桜が最上であり、人は武士が最上であるという意味です。これは武士は桜のように美しく生き、潔く死ぬべしということであり、「花は散り際、武士は死に際」という言葉も生まれました。死生観の確立が武士道の主要テーマの一つでもあり、死生観の事を記さぬ武士道書はありません。このこ

とからも武士の本分とは武士として生き武士として死ぬということ以外ありません。ではどのように生きどのように死ぬのか？武士道の最終的な到達点とも言われる西郷南洲は武士の生き様（＝死に様）として「青天白日」と「敬天愛人」の2つの言葉を残し、「道は天地自然の道なるゆえ、講学の道は敬天愛人を目的とし、身を修めるには克己を以て終始せよ」と言っています。道とは天道・地道・人道の共通の道であり、この道を行う者の心は青天白日のように清廉潔白でなければならぬ、というわけですね。（太）

今月のお豆ちゃん

お豆ちゃんの保育園のお友達を誘って、皆で三浦大根を掘りました。この1号畑の大根は大層立派に育ち、大人が1本持ち帰るのも大変な大きさになっていました。葉も立派に育って3人の子供が隠れてしまう程です。子供達は気まぐれにお手伝いをしたり、遊びに興じたりしていましたが、遊具もおもちゃもない場所でも遊びを生み出せることに驚かされます。遠い昔、泥団子を作るのが無性に楽しかったことを思い出しました。（仁）



魔除けの唐辛子

収穫した唐辛子を紙紐で括りました。韓国では唐辛子は魔除けと考えられているそうなので、乾燥も兼ねて玄関に吊るしました。初めての括り方に1本目はかなり苦戦。けれど、ある方の手の動きがとても参考になり、2本目からはかなりスピードアップしました。3本4本と進めるうちに速度は更に早まって、半日で8本仕上がっていました。適切なアドバイスを得て、そこから繰り返し手を動かす事が手仕事を極める術なんだと再認識した次第です。（仁）

編集者：後藤紅仁子

kuniko-goto@ccore.co.jp

発行日：2020.12.28 冬至（とうじ）

薬角解（おおしかのつのおつる）

発行所：株式会社コンセプト・コア

☎192-0373

八王子市上柚木 2-63-10

TEL/FAX 042-697-7473

https://ccore.co.jp/

過去号：ウェブサイト1からご覧頂けます。